



みささ

第143号

令和7(2025)年

議会だより

10月号



主な内容

- 令和6年度決算を審査 2~3
- 9月定例会・一般会計補正予算 4
- 常任委員会で慎重審査 5~6
- 議員7人が一般質問 7~14
- 議案の賛否 15
- 大好きみささ町 16

大家族シリーズ

喧嘩ばかりだけど
仲良し家族

米村さん家族(砂原)

令和6年度一般会計決算を認定

一般会計決算審査特別委員会

9月16日に一般会計決算審査特別委員会（能見貞明委員長）を開催しました。この委員会は5名の委員で構成され、総務教育・産業民生常任委員会で審査した一般会計決算の内容を、さらに細かく審査するものです。その結果、原案のとおり認定すべきものと決定しました。

特産品振興事業

問 特産品開発の取り組みに支援をしているが、新たな特産品の内容と商品化の目標はあるのか。また、ブロッコリーの実証実験はどうだったのか。

答 令和5年度には神倉大豆の味噌やソイプロテイン、令和6年度は大豆やおからを使った甘酒、クロツケ、パンの製造に支援し、イベントなどで販売されている。また、ブロッコリーの実証実験に参加している農家は令和3年度の6名から令和6年度は2名に減少した。収益性の高いブロッコリーの栽培方法と技術の普及を図っていききたい。

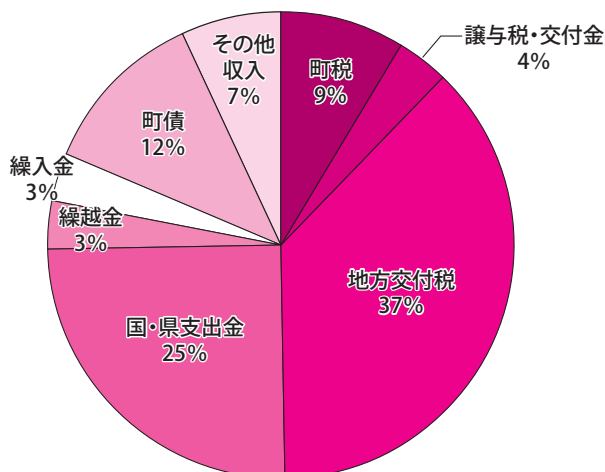
三徳川緑地公園広場改修事業

問 災害復旧工事で一部張芝により復旧しているが、降雨により芝が流されている状況がある。再発防止のため河床掘削をしたり、河川管理者に早急な対応を強く要望すべきではないか。

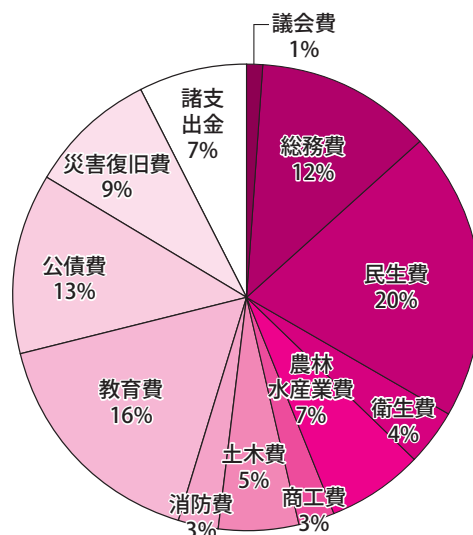
答 河川管理者である県に毎年要望しているが、予算や優先順位を理由に現在まで未着手である。今後も実施されるまで強く要望を続けていく。



【歳入】 74億57万円



【歳出】 71億5,839万円



鳥獣被害防止対策

問

シカ・イノシシの捕獲数は増加傾向だが、個体数は減少していない。捕獲数を増加させるには、狩猟免許のある捕獲者や農家と意見交換を行い、減らない原因を調査するとともに、捕獲奨励金の単価増額など検討すべきではないか。

答

町では猟友会や地域協議会の代表などを委員とした鳥獣被害防止対策協議会を定期的に開催し意見交換を行っている。また、町の職員も定期的に現場を確認している。



鳥獣被害対策の柵設置指導

出産・子育て支援、移住支援全般

問

乳児期子育て応援事業ではゴミ袋やスタイなどのプレゼント、出産・子育て応援交付金事業では経済的支援などを実施しているが、もっと手厚い支援や施策の改善はできないか。少子化が進んでいる中、現在の施策が十分ではないのか。また、多くの子どもと暮らしている家族の表彰や記念写真の費用負担をはどうするか。

答

(町民課)

乳児期子育て応援事業のゴミ袋やスタイなどを贈呈することが、直接出生数増加につながるとは考えていないが、状況を踏まえながら検討してみたい。

(企画健康課)

平均出産件数が20件を下回っている状況において、出生数の維持、自然減の抑制のほかに、移住や定住につながる関係人口の創出が定住人口の確保には必要と考えている。また、表彰や記念写真の費用負担は効果の部分も考え、前向きに検討していきたい。

ふるさと応援寄附金一般経費、特別経費

問

米の返礼品が人気でも、提供のストップなどが続くと寄附額は増えない。行政主導で個人の米生産者に返礼品提供事業者への登録を働きかけるなど寄附額増加に努めるべきではないか。また、個人の手間を省くため、生産者から米を集めて受付から発送まですべて対応できる窓口の設置はできないか。

答

令和7年度産米は、価格が定まらない現状では寄附額の設定が困難などの理由で申込をストップしている。本町では中間事業者制度を導入したため、返礼品提供事業者は商品の発送をするだけである。令和7年度からJAも返礼品提供事業者となっており、今後は担い手農家や個人の米生産者にも働きかけていきたい。しかし、すべて対応できる窓口は米の在庫管理や設備、費用面に問題がある。

このほかの5件と併せて10件の事案についての聞き取りを実施し、決算審査を行いました。

9月 定例会

一般会計補正

(予算の総額は、1億3,790万8千円を追加し
61億4,963万6千円になりました。)

9月定例会（9月8日から22日）は、町長から提出された議案など20議案を審議し、原案とおり可決及び同意しました。主な補正予算の概要と条例改正は次のとおりです。

主 な 補 正

◇ラマルー・レ・バン町中学生訪問団受入事業 96万円

11月に5泊6日で来町するラマルー・レ・バン町中学生の受け入れに係る経費

◇三朝町空き家等撤去費助成事業 480万円

管理不全家屋等に認定された空き家等の解体撤去補助金の増額補正

◇妊婦のための支援給付金事業 94万円

支援給付金の給付履歴を確認するための自治体間の情報連携に係るシステム改修費

◇畜産経営緊急支援事業 73万円

飼料価格高騰の影響を受けた畜産農家の経営継続を図るための支援金

◇小学校施設改修費 144万円

小学校体育館のアリーナ上部の連結窓開閉装置の動作不良に伴う改修費

そ の 他 の 議 案

○三朝温泉入浴等施設の設置及び管理に関する条例の設定について (議案第60号)

新たに整備する三朝温泉入浴等施設について、町が資金調達し、民間事業者に設計・建設・管理・運営を委託して実施する DBO 方式の根拠となる条例を施設整備前に設定する。

○教育委員会委員の任命に同意（議案第63号）

任期満了を迎える村岡麻梨委員について、引き続き教育委員として任命することに同意した。任期は、令和7年10月1日から令和11年9月30日までの4年間。

常任委員会 で慎重審査

委員会における主な質疑

総務教育常任委員会

戸籍へのローマ字等表記

問 自宅に届けられている封書は、戸籍の氏名にローマ字表記、フリガナをふるために必要なものなのか。

答 住民基本台帳のフリガナを「戸籍にこういう形で登録しますよ」という通知を送っている。問題がなければ何も返答は要らないが、読み仮名が違つ等があれば、来年の5月までに申し出ていただく形になる。

マイナンバーカード 交付率増加

問 本町のマイナンバーカード交付率が近年ほとんど変化していないように思うが、その原因は把握しているのか。

答 令和7年7月末現在で82・6%の交

付率である。交付率が伸びない原因は検証していないが研究してみたい。カードの出張申請等にも取り組んでいるので、役場に来られない方に活用してもらいたい。



マイナンバーカードの出張申請

ふるさと広域連合負担金（滞納 整理事務）

問 国民健康保険特別会計の滞納繰越分のうち約13・9%を広域連合へ委託し、87・55%収納されたようだが、これだけ広域連合が収納できるのなら、町でもある程度できるのではな

いか。

答 町で収納を行うのは現年分を中心としており、滞納になった部分は専門的な業務を行っていたただける広域連合に委託している。

管理不全家屋等緊急安全措置事業

問 管理不全家屋の緊急安全措置として304万7千円支出しているが、費用は最終的に回収できるのか。

答 基本的に回収が可能であれば回収する。様子を見て対応していく。

問 所有者は様々な事情があつて町が代わりに代執行でやった事業だという考え方でいいのか。

答 近隣の住民や歩行者の方々から、「危険である、何か起きた時にどうする」というご意見が多く寄せられたので、緊急に安全措置を講じる必要があり実施した。

三朝温泉入浴等施設整備・維持 管理運営事業

問 三朝温泉入浴等施設計画地のボーリング調査の結果、地表から深さ3m

の間に軟弱地盤が確認されたということだが、こういった分布になっているのか。

答 地表から3mぐらいの間で軟弱な地盤が見つかったが、軟弱な部分を改良すれば、それより下の層は構造物を立てても何の問題も無いとの結果であつた。

台湾との国際交流

問 保育園の園児や小学校の児童が台湾と交流する話があるが、オンライン交流なのか、将来的な目標をどう考えているのか。

答 今後の方針の具体的な協議は行っていないが、保育園から小学校にかけてはオンラインで異文化や外国語の交流をし、

中学校に上がつて実際に生徒が相互交流を行うような考えでいる。



産業民生常任委員会

ふるさと応援寄附金

問

令和6年度の寄附額は1億3410万1千円と、前年度に比べ、約1.5倍の増となった。返礼品の内訳は、1位が旅館利用券で全体の約3割。2位が米で約2割となっている。米の返礼品に力を入れたり、寄附額を増やすための施策をすべきではないか。

答

本町は米の絶対数が少ない現状があるが、三朝の米を少しでも多く、全国の寄附者へ届けられるよう農林課とも連携し取り組んでいきたい。



ふるさと納税の米

鳥獣被害（クマ対応）

問

法律の改正により、人的被害等の対策で、市街地にクマが出没した際、市町村長が猟銃の使用許可を出せるようになった。住民の命を守るためには、許可を早く出せるようにする手立ではないか。

答

市街地で猟銃を撃つことになるので、安全面を確保する体制の整備が必要であり、県内の市町村と整備体制について話をしていく必要がある。

赤ちゃん誕生のお祝い

問

現在、赤ちゃん誕生のお祝い品として、赤ちゃんが誕生した世帯にスタイセットとゴミ袋を50枚プレゼントしているが、50枚では少くないか。本当に喜んでもらえるものを考えるべきではないか。

答

出生数も減ってきているので、お祝いとして渡すゴミ袋の枚数を増やすなど検討してみたい。



赤ちゃん誕生のお祝い品

道路の安全管理

問

町道で中央線が消えてしまったり、見通しが悪いのに一時停止線がない箇所があるので対処して欲しい。

答

現地を確認し、危険である箇所は必要な修繕・改修をしていく。

問

点字ブロックに沿って歩いていた方が縁石にぶつかって倒れたら、事故があった。非常に危険な状態だが、修繕されていない。すぐにでも

修繕等対応すべきではないか。

答

県の管理部分については県に要望をする。町道にある点字ブロックは点検し、福祉課と協議をし、必要な箇所は改修・修繕する予定である。

名探偵コナンミステリーツアー負担金

問

大阪・関西万博を訪れる国内外の観光客を誘客する目的として、鳥取県とＪＲ、県内の３市５町が協賛して行っている「名探偵コナンミステリーツアー」は、本町にどのようなメリットがあるのか。

答

物語の舞台が三朝温泉になっているので、ツアーの内容を見るだけで三朝温泉を知ってもらえ、チェックポイントとして立ち寄ってもらえるため、本町にとって非常に効果があると思う。

また、ツアーには、日本人だけでなくアジア系インバウンドの方など１ヶ月で数百名が来ているようなので、費用対効果があった。

一般質問

一般質問は、議員の日常活動と調査研究、住民の声や自身の考え方をもとに、町長や教育長などの方針を問うものです。

あなたの声を 町政に

7人の議員が一般質問をおこないました。

三朝町は、執行部答弁を除き1人20分以内の制限
時間内であれば、質問の回数に制限はありません。

議会だよりでは、スペースの都合上、質問と答弁が要約してありますので、
臨場感ある本会議場での傍聴をお待ちしております。

ページ	質 問 事 項	質問議員
8	1 指定管理施設の評価結果と町の対応について 2 防災におけるマイ・タイムラインの推進について	吉村美穂子
9	1 移住対策・空き家問題・耕作放棄田問題の解決 に資する一私案	山口 博
10	1 三朝町農業の現状	遠藤勝太郎
11	1 地元住民と行政が連携したオーナー制度の導入	森 貴美子
12	1 今後の空き家対策について	小椋 泰志
13	1 これからのまちづくりについて 2 高齢化社会への対応強化について	松原 成利
14	1 AI活用による地域活性化について 2 三朝町と姉妹・友好都市との交流拡大について	河村 明浩

※ケーブルテレビでは、一般質問後の最初の日曜日に、録画放送を行っています。
(10:00～、18:00～)



吉村美穂子 議員

指定管理

問 指定管理施設の評価への町の対応

答 利用者が満足するサービス提供に努める

評価を広報などで公表出来ないか

吉村

町税が使われている施設なので、評価結果をホームページだけでなく、広く広報などでも公表してはどうか。

町長

広報だと項目の説明など集約した形になるが、整理して公表すれば町民にとってはわかりやすいと思う。

吉村

町民が各施設の内容を良く知り、施設を盛り上げていくためにも評価の公表は大切だと思う。

サービスの実施状況や施設運営に関する満足度調査を

吉村

令和6年度の評価で、利用者の満足度調査を実施していなかった施設は5段階評価のDランク（求める管理水準に沿っていない内容があり改善を要する）となっていた。今後どのように対処していくのか。

町長

利用者の声を聞き、利用者が満足するサービスを提供していく努力と、工夫が必要であると思う。施設には満足度調査の実施を要請している。

事業の収支や利用状況の公表

吉村

委託料の収支や利用状況が公表されていないので費用対効果がわからないが、公表してはどうか。



指定管理施設
「賀茂保育園・社会福祉協議会」

町長

基本的には事業者の判断を基にし、事業者が利用状況などを出していれば、町が確認した上で公表は出来るが、全ての管理施設が出るかどうかはわからない。

指定管理施設評価の検討

吉村

現在は、指定管理者の自己評価と各所管課が評価をしている。第三者評価、町民参加型の評価の導入はどうか。

町長

1つの方法だと思う。一方、その施設を良く理解し、評価できる人材の確保が課題である。

防災

問 自助のためにマイ・タイムラインを

答 本町に合った形で進めていきたい

自助で防災力を高める

吉村

住民の防災意識に格差があることを考え、自助に対する意識を高めることが重要である。あらかじめ、どの段階で避難行動を開始するかをシミュレーションし、自分のタイムラインを作成することで、防災を自分のこととして捉えることができる。学校や地域の防災学習に取り入れてはどうか。

町長

る。自分自身の避難計画を作成出来るツールなどを活用したら良いと思う。

わかりやすく関心をもってできるのは良い。子ども達や地域学習でも取り組んでいきたい。

マイ・タイムラインとは

自分や家族が災害時にどう行動するかを時系列で整理した行動計画表

町長

町の防災力を高める上でマイ・タイムラインの作成は有効な手段だと思う。

吉村

国土交通省から無料で、ダウンロードできる「逃げキッド」がある



「逃げキッド」



山口 博 議員

移住

問 移住問題は住居と生業（仕事）の三位一体で解決を

答 3点セットは移住対策の一つの方法として研究する

移住対策・空き家問題・耕作放棄田問題の解決は三位一体で

山口

町の課題である、移住問題、空き家問題、耕作放棄田問題を解決するにあたり、生業（仕事）の一つとして耕作放棄田を活用した自給自足の就農を加えて三位一体で取り組んではどうか。

移住定住促進には今回提案した移住定住、空き家、農業の3点セットのような移住希望者が興味を示す方が必要と考える。ほかにも、三朝温泉には人手不足でフル稼働できない旅館等がある

るので、三朝温泉で働きながら子育てをしませんかなど生業をセットにしたアピールが大事ではないか。

町長

移住、空き家、遊休農地の活用をワンパッケージとすることも一つの方法と思う。それぞれをどの様に活用するかの研究が必要であるが、移住定住対策としては重要だと思っている。

収入無きところ定住無し

山口

「三朝町にどうぞ来てください」と言っても、安定した収入の生業（仕事）、安価な住宅の提供がなくては若者の移住に中々結びつかないのではないか。移住者に対して町は多くの支援策を用意しているが、支援は一定期間のものである。「収入無きところに定住無し」と言われており、生業の確保が欠かせない。生業の一例

として耕作放棄田活用 of 就農を提案したがどうか。

町長

生業の部分を農業に絞ると非常に範囲が狭くなるので、観光業等に携わることやパッケージにすれば若者は取り付きやすいと思う。様々な視点で制度づくりをしていく必要性を感じた。

推進のための制度設計を研究

山口

移住対策・空き家対策担当の企画健康課、耕作放棄田対策の農林課・農業委員会が手を組んで3つをワンパッケージとして取り組むのはどうか。

一つの例として、耕作放棄田活用の就農を全面に出して提案しているが、現実には非常にハードルが高いと思

う。しかし、いろいろな制度を設定することで可能ではないか。

町長

空き家の提供、仕事の斡旋については、権利の関係や制度的な問題もあるが、民間団体、民間業者と連携して活用していく制度をつくっていくことは大事だと考える。しっかりと研究して、次の総合計画等に向け取り組んでいく必要がある。



空き家



耕作放棄田

農業

問 三朝町の農業の現状

答 しっかりと三朝町農林業の持続に努める



遠藤勝太郎 議員

ライスセンターの存続

遠藤

米が主体の本町でライスセンター存続は大問題。町が助成してでも残すべきでは。

町長

今以上にJ Aと情報共有しながら稼働運営を維持したい。

遠藤

ライスセンターの乾燥施設等の老朽化による更新時、町は助成してでも残す考えはあるか。

町長

継続するために町の支援

が必要ならJ Aと一緒にやってやる。

遠藤

ひとめぼれ、星空舞は鴨水カントリーエレベーターに横持輸送しているが、ライスセンター集約の前ぶれでは。

町長

コンバイン刈り取りは天候に左右されるが、ライスセンターの休み等で米を持って行けない日があった。晴れが続いた日に持つて行きたいという多くの農家の意見により横持輸送が始まった。三朝米のコシヒカリときぬむすめは町のライスセンターで確実に荷受けて処理している。

神倉大豆の収量確保

遠藤

米価高騰の煽りを受けて特産化しつつある神倉大豆の作

付面積が減らないよう町独自の追加支援が必要では。

町長

高収益化と市場価格を注視しながら米と同等の収入の維持または向上できるような機械投資や経費節減に對し支援する。

遠藤

大豆生産による収入等の金額明細が非常に分かりにくい。

町長

非常に分かりにくいので、農家の人に理解してもらえよう説明等をしたり、J Aと話をしながら推進していく。

果樹の水田への導入

遠藤

収益性の高い果樹（新甘泉等のジョイント栽培）の導入を。

町長

水田への栽培移行、ジョイント栽培の導入は積極的にかえたい。

遠藤

梨農家も5軒ともはや風前の灯となりつつある。特産品として残すなら対処が必要。

町長

三朝の梨を消したくない。新規就農を探し、手が挙げれば万全な体制でフォローする。

荒廃農地対策

遠藤

生産者の高齢化、担い手不足等により荒廃農地が増加し、対応が急がれる。コナラ等植林しては。

町長

現状にとらわれることなく、必要な施策・支援を進めたい。

遠藤

10年もするとコナラ等は間伐してシイタケの原木利用できる。苗木助成してでも進めるべきでは。

町長

森林環境譲与税も使いながら広葉樹林化していく。森林組合とも共通認識を持つて進める。



ライスセンター



森 貴美子 議員

政策

問 地元住民と行政が連携したオーナー制度を

答 棚田は維持管理が難しく多くの課題がある

オーナー制度とは

森

最近のお米不足と価格の高騰で注目されているオーナー制度について、愛媛県大洲市の榎谷棚田保存会を視察した。オーナー制度とは、都市住民等の希望者がオーナーとなり、会費等を支払い、田植えや草刈り、稲刈りなどの作業を体験して、収穫したお米を受け取る仕組みである。本町にとっても良い結果につながると思うが。

町長

オーナーが町内の農地所有者と一緒に米作りをし、りして、オーナー自身の年

間の米という食糧を確保していくということは一つの方法としてはあるかもしれない。

体験型の観光

森

全国のオーナー制度のサイトは見ただけでも楽しめて実際に行ってみたい場所が数多く掲載されている。観光は、一度足を運べばリピートはなかなか得られにくい、オーナー制度は何度も来てもらい、地元住民と交流ができるメリットがある。オーナーの宿泊に三朝の旅館等を使ってもらえたら、三朝温泉や三徳山のPRになるのではないが。

町長

農業という広い視点でのオーナー制度の活用や健康的なプログラムでの滞在により、リピート客を掘り起こして、町が進めている現代湯治、新湯治のプランも



美しい榎谷棚田

農家の負担軽減

森

農家の方の負担を少なくするために、オーナー制度の考え方を取り入れ、田植

えや稲刈り等のお手伝いを募ってみるのはどうか。

町長

形は違うが、三徳レンジャーはその考え方に一番似通っている。そういった輪を広げていきたい。

森

榎谷棚田保存会の方々は、定年後に農業をされている方が多いと聞いた。定年後に農業のスキルを学べる取り組みは大切で、年金をもらい

ながら10年〜20年は農業ができるかと教わった。町でも農業のスキルを学べる場をつくってはどうか。

町長

年3回、どなたでも参加できる米作りの教室をやっている。私も資料をもとに自分の米作りの参考にしていく。農作物、野菜など手軽にできるものがたくさんあるので、そういったことは町としても広めていきたい。



榎谷棚田保存会の皆さん



小 椋 泰 志 議員

空き家対策

問 危険家屋への対策を万全に

答 安全・安心の確保のため力を注いでいく

空き家対策の取り組み状況は

小 椋

近年、人口減少や高齢化の進行に伴い空き家問題が深刻化している。町でも391件の空き家が確認され、その内98件が危険家屋とされているが町の取り組み状況はどうなのか。

町 長

空き家に対する相談や苦情等が増加している中、条例の制定や解体撤去の補助金制度をつくったりしながら、総合的な面で空き家対策の計画を策定し体制づくりを進めてきている。

危険家屋への迅速な対応を

小 椋

危険家屋は特に倒壊や火災の危険があり、地域住民の安全や安心な生活環境を守る観点から簡易代執行の活用など早急な対応が必要ではないか。

町 長

危険家屋に対しては指導・

助言を行いながら制度の周知を図り効果を上げてきているが、対応いただける方はまだ少ない。代執行は経費負担の課題などもあり、実例等を見ながら適切な対応ができるよう準備していきたい。

空き家を地域資源として活用するべき

小 椋

空き家は地域資源としての可能性も秘めている。日本遺産など豊富な観光資源と

空き家の活用を図り、移住定住の補助事業と連動させて空き家付き移住支援パッケージとして打ち出しているどうか。

町 長

住まいの確保と定住支援を一体的に打ち出すことは、若い世代に対して強い訴求力を持つと認識している。

小 椋

他県では所有者から無償で提供された空き家を「0円空き家バンク」として登録し移住希望者へとつなげる取り組みを進めている成功事例があるが、本町でも取り組んでみてはどうか。

町 長

非常に参考となる事例だと思うので、町としてふさわしい対応を研究していきたい。また、行政の中のセクションとしてやるには大変な部分もあるので、外部人材を入れるなど、民間と

の連携も含めて考えていきたい。

長期的ビジョンと数値目標の設定を

小 椋

計画の中で基本的な方向性は示されているが、危険家屋の減少率や活用件数といった具体的な数値目標は明確になっていない。

町 長

どの部分まで目標設定していくかは難しい面がある。今後は国や県の指針に基づいて地域性を加味しながらどのように連携させていく

かが課題と考えている。

小 椋

空き家対策をより実効性のあるものにするためには、危険家屋への粘り強い対応、空き家を地域資源として活用、そして町民との情報共有が重要と考えるがどうか。

町 長

空き家対策は地域の安全、安心、生活の面で大事なことでだと考えている。国や県にもこうした課題を投げかけながら引き続き力を注いでいきたい。



放置された空き家



松原 成利 議員

町政・観光

問 これからのまちづくりは

答 地域経済の好循環が進む取り組みを進めたい

恵まれた資源を活かし
一体的な整備を

松原

平成31年「第11次三朝町総合計画」、令和6年「同後期基本計画」が作成され行政の指針となっている。「気軽に何度も訪れたい日本遺産のまち」を目指し、各施設や立地条件等の関係性を総合的な観点から捉えて環境整備を行うべき。

町長

令和6年の観光客数は32万5千人でコロナ前の95%まで回復し、金額面でもと実質回復したと思われる。観光消費で地域経済

の好循環が生まれ進むような取り組みを民間の皆さんと一緒に進めたい。

観光地宿泊地としての交通事情や環境の整備を

松原

「日本一危ない国宝鑑賞」である三徳山の交通環境や景観整備、三朝温泉が周辺地域から宿泊地として選択されるための交通事情や環境の整備を進めるべき。

町長

日本遺産の地域活性化計画でも環境整備は重要であり、公衆トイレ洋式化や旅館の高付加価値化、三徳山遥拝所新設等を年次的に進めてきた。今年度は屋外大型ディスプレイ設置で動画による案内や、大型コインロッカー、路線バスにICOCAの導入を計画している。

これからの社会に合致させ集客や関係人口増加を

松原

建設事業が始まる日帰り入浴等施設も含め、便利で優しい環境として一体的整備を進めることが集客や関係人口増加、自主財源増へとつながるのではないかと

町長

入浴施設が点ではなく三朝温泉全体、複合地域を含めた面と捉え、多くの皆さんに利用してもらいながら関係人口増加につなげたい。



三徳山裏参道付近の様子

福祉

問 高齢化社会への対応強化を

答 フレイル対策等の推進には力を入れていく

住宅のバリアフリー工事への補助新設を

松原

高齢で足元が不安定になり手摺等を設置したいが、工事費工面が簡単でないと聞く。補助金を受けるには介護保険制度の要支援以上の認定が必要。大怪我等による健康被害防止と医療費低減対策から独自の補助金制度を新設すべき。

町長

不安は理解できるが、簡易的に対応できる場合でも町の支援制度となると高額で時間を要する可能性があり、個人での対応が適していると思う。怪我がないことが一番で意見を聞きながら検討したい。

障がい者の避難宿泊に費用補助新設を

松原

集中豪雨等の際に、避難所開設より前にいち早く旅館等へ自主避難が必要な車イス等生活者や障がい者の方々には補助制度を新設すべき。

町長

自身の判断でされた旅館等への避難の補助は難しいが、社会福祉施設等とは福祉避難所の協定締結、令和3年2月には災害時の宿泊施設の提供協定を締結しており優先的に避難対応可能と考える。



河村 明浩 議員

生活

問 日常生活にAIが活用できる学び場を

答 町民のニーズにあった多様な学びの場の機会をつくる

AIを町民が活用できるように

河村

AI技術を町民全体が活用・理解できる環境を整え、地域力の底上げになるのではないかと。

町長

今後AIは暮らしを支える技術として一層重要性を増すと思っている。誰もがAIを含むデジタル技術を身近に学び、日常生活や地域活動で活用する学びの場の提供は重要になってくる。

三朝町でのAIの活用状況は

河村

本町のAI活用状況は。

町長

庁内DXとして、今年6月から生成AIの利用を開始し、業務の効率化を図っている。

全町民が学べるAI学び場の開催を

河村

基本的なAIの活用や農業、防災、健康など各分野別に日常生活に役立つ活用法までを実践的に学べる機会の提供を通じて、町民にもAIが自分に役立つ技術であることを実感していただけたらと思うが。

町長

AI活用の前段として、地区でのスマホ教室等の開催など高齢者を中心とした情報格差の対策に取り組んでいる。様々な年代の情報格差をなくすことに力を入れ、これからの情報化社会に対応して、町民のニーズに沿った多様な学びの場をつくっていきたい。



多賀ふるさと楽市でのPR

交流

問 町民全体を巻き込んだ交流拡大を

答 町の活力に結びつく取り組みを実施したい

今後の友好姉妹都市交流の在り方は

河村

友好姉妹都市との交流は限定的で、もっと町民を巻き込んだ交流をすべきだと思うが、現状をどう把握し、今後どのように発展させるのか。

町長

現状としては、小・中学校における相互訪問やオンライン交流、行政間では観光やイベント等の参加など様々な交流をしている。交流推進の町として、人材育成・活用、関係人口の拡大など多くの人が関わり、関心の高まりと町の活力に結びつくような取組を引き続き検討、実施していきたい。

住民同士の訪問を

河村

行政間だけでなく、一般の方が来ていただく施策はないか。

町長

本町と三朝温泉に関心を持っていただき、お互いにとつていい形で関係を続けていきたい。

城陽市・多賀町との交流拡大は

河村

三朝温泉や特産品を相手都市でPRする三朝フェアの開催、防災や地域振興など共通課題に取り組む共同プロジェクトなど相互の地域振興につながるようなことを実施しては。

【議案に対する賛否】

議案番号	議案名	議員名（議席順）											森 貴 美 子	小 椋 泰 志	河 村 明 浩	吉 村 美 穂 子	松 原 成 利	松 原 茂 隆	能 見 貞 明	石 田 恭 二	山 口 博	藤 井 克 孝	遠 藤 勝 太 郎	吉 田 道 明	結 果
(8月臨時会)																									
町長提出議案名																									
43	令和7年度三朝町一般会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可決										
44	三朝町の議会の議員及び長の選挙における選挙運動用自動車の使用等についての町費負担に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可決										
45	工事請負契約の締結についての議決の一部変更について（町道実光神倉線道路災害復旧工事（5年災462号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可決										
(9月定例会)																									
町長提出議案名																									
46	令和7度三朝町一般会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可決										
47	令和7年度三朝町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可決										
48	令和7年度三朝町後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可決										
49	令和7年度三朝町介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可決										
50	令和7年度三朝町温泉配湯事業特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可決										
51	令和7年度三朝町下水道事業会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可決										
52	令和6度三朝町一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	認定										
53	令和6年度三朝町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	認定										
54	令和6年度三朝町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	認定										
55	令和6年度三朝町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	認定										
56	令和6年度三朝町温泉配湯事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	認定										
57	令和6年度三朝町財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	認定										
58	令和6年度三朝町水道事業会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	認定										
59	令和6年度三朝町下水道事業会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	認定										
60	三朝温泉入浴等施設の設置及び管理に関する条例の設定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可決										
61	三朝町職員の育児休業等に関する条例等の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可決										
62	三朝町町道の構造の技術的基準等に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可決										
63	教育委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	同意										
議員提出議案名																									
議4	少人数学級・教職員定数の改善に係る意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可決										
議5	「カリキュラム・オーバーロード」の改善を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可決										

※○は議案に対する賛成、●は反対等であることを意味しています。
※吉田道明議長を除く11名の賛否状況です。

【陳情】 9月定例会の陳情に対する審査結果です。

件名	提出者	審査結果	審査意見
ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための、2026年度政府予算に係る意見書採択の陳情について	鳥取県高等学校教職員組合 中部支部 鳥取県教職員組合中部支部	採択 意見書提出	ゆたかな学びを保障し、教職員の働き方改革を実現するため、少人数学級の実現、教職員定数の改善等の早期実現が必要。
「カリキュラム・オーバーロード」の改善を求める意見書採択の陳情について	鳥取県高等学校教職員組合 中部支部 鳥取県教職員組合中部支部	採択 意見書提出	次期学習指導要領の内容の精選や標準授業時数の削減による「カリキュラム・オーバーロード」の改善が不可欠である。

最高の運動会

私たちは今年、運動会に参加する側から進める側になりました。今年は昨年までと違い、初めての場所ですることになり、これまでと違う景色でした。

運動会の成功に向けて、三朝中学生徒全員で物語を作り上げていきたい、という願いを込めてつくった、生徒会スローガンである「S tory」をめざして、勝ち負けでなく、全力で楽しむことのできる運動会を目標に話し合いを進めました。

生徒会種目は、協力が必要な種目だったため、各クラスでこれまでより多くの練習をしたと思います。その他の種目も含めて、一つ一つの練

習が、本番の盛り上がり
が、一人ひとりの記憶
に刻まれたら嬉しいで
す。また、見に来てくれ

た家族、見に来てくださった来賓の皆さんにも「S tory」として刻まれたらとても嬉しいです。

最後に、この運動会を開催するにあたって草刈りをしてくださった方々、私たちの活動をサポートしてくださった先生方、全力で取り組んだ全校生徒の皆さん、本当にありがとうございました。



三朝中学校生徒会執行部
3年 政門秀亮

議会・委員会を傍聴しませんか

議会の審議はみなさんに公開しています。本会議、委員会等での審議がどのように進められているのか、直接ご覧になってみませんか。

どなたでも傍聴できますので、お気軽に役場2階へお越しください。

※常任委員会・全員協議会の傍聴には委員長・議長の許可が必要です。詳しくは**議会事務局（電話43-3511）**にお問い合わせください。

12月定例会の日程予定（案）

会期 12月9日～12月17日
（9日間）

※日程は変更になる場合があります。
※近づきましたら、防災無線、町ホームページでもお知らせします。

～町のホームページに、議会情報を掲載しています～

- ・町ホームページから **三朝町議会** のページをご覧ください。

町ホームページアドレス <http://www.town.misasa.tottori.jp>

- ・町議会のしくみや議会日程、議員紹介など、さまざまな情報を掲載しています。
- ・議会だよりのバックナンバーも閲覧することができます。

発行責任者 議長 吉田 道明
編集 議会広報常任委員会
委員長 小椋 泰志
副委員長 河村 明浩
委員 藤井 克孝
委員 吉村 美穂子
委員 森 貴美子

（小椋 泰志 記）

例年になく猛暑が続いた今年の夏。水不足による稲の生育が心配されましたが、農家の皆さんの懸命な努力と、時折降る恵みの雨のおかげで、稲穂は今年も黄金色に実りました。物価高による米の値段など気にせず、この豊かな恵みに感謝しながら新米をいただくのが楽しみです。

秋は、祭りに運動会、文化イベントと、さまざまな催しが目白押しです。活気ある行事を通して、地域の方々の笑顔が広がり、絆がより一層深まることを願うばかりです。

さあ、実りの秋、芸術の秋、スポーツの秋、食欲の秋をみんなで楽しみ、地域をさらに盛り上げていきましょう！

